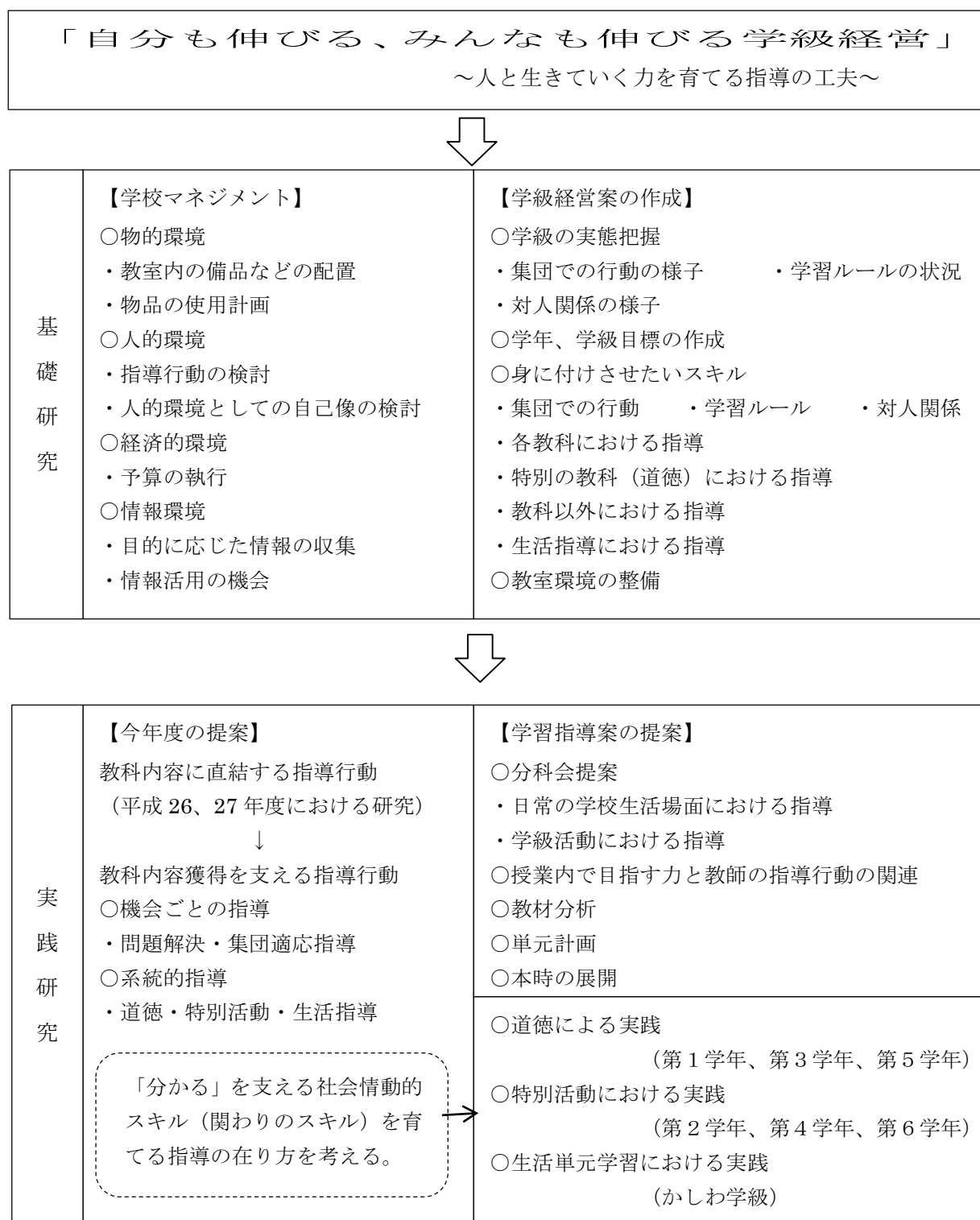


1 研究の方法



【参考文献】

- ・ OECD 『家庭、学校、地域社会における社会情動的スキルの育成』（2015）
池迫浩子/宮本晃司/ベネッセ教育総合研究所訳

2 研究で明らかになったこと

「自分も伸びる、みんなも伸びる学級経営」

～人と生きていく力を育てる指導の工夫～

児童の「社会情動的スキル」を育成するための指導の在り方を検討する

①日常の学校生活場面における指導の工夫

「集団での行動」「学習ルール」「対人関係」における社会情動的スキルを育てるために、教師はどのような指導行動を選択するか？

②道徳・学級活動における指導の工夫

社会情動的スキルを育てるために、道徳・学級活動の学習場面で何を「身につけさせる」か？

①日常の学校生活場面における指導の工夫

集団での行動

教師の主な指導行動

- 児童の行動のパターン化・グループ化・システム化
- 時刻や予定の視覚的提示
- きまりや目標の提示と定期的な評価
- チャイム着席・集合無言などの集団ルールの徹底
- 児童の主体的かつ適切な判断・行動を促す声かけと賞賛

育てたい
社会情動的スキル



- ・時間やきまりを守って行動できる。
- ・みんなと一緒に行動できる。



- ・何をどうすべきか考えて行動する。
- ・みんなのことを考えて行動する。



- ・見通しをもって進んで行動する。
- ・みんなで協力して行動する。

学習ルール

教師の主な指導行動

- 「姿勢」「話型」「声の大きさ」の視覚的提示と随時評価
- 「練三スタンダード」の掲示と定期的な評価
- ペア、グループ、学級での話し合いの仕方の提示、示範
- 児童への声かけと賞賛、および個別指導

育てたい
社会情動的スキル



- ・「練三スタンダード」の学習のきまりを意識して行動できる。
- ・正しい姿勢で、先生や友達の話をも黙って最後まで聞くことができる。
- ・正しい言葉遣いで発表したり、ペアで伝え合ったりできる。

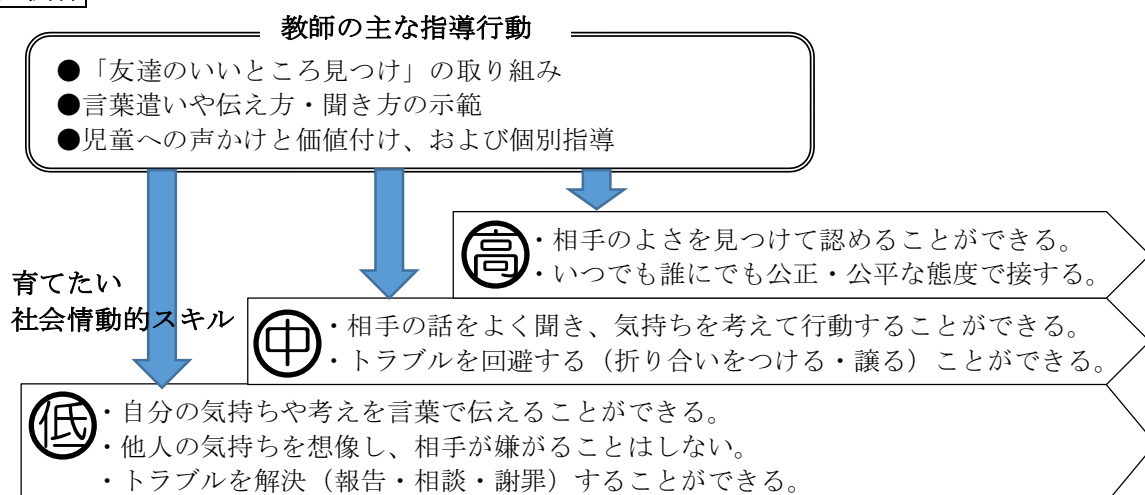


- ・場に合わせた話し方や声の大きさを発表することができる。
- ・グループで伝え合ったり話し合ったりできる。



- ・グループや学級での話し合いの仕方がわかる。

対人関係



②道徳・学級活動における指導の工夫

道徳

授業内容	社会情動的スキルを育てるために身に付させたいこと	教師の主な指導行動
1 年 主題名 よいことはすすんで 【善悪の判断、自律、自由と責任】 教材名 「ぼんたとかんた」	・理由を考えて、よいことと悪いことを区別する力 ・よいと思うことを進んで行おうとする態度 ・ペアでの話し合い（伝え合い）のしかた ・自分の考えをもち、ワークシートに書く力	・行動理由を考えさせる質問 ・導入と終末で日常の生活場面を取り上げて考えさせる。 ・「なかよしおとなりタイム」（ペア学習）の進め方や話型の提示 ・ワークシートの設問は、選択や理由など書きやすい内容にする。
3 年 主題名 社会のきまりを守って 【規則の尊重】 教材名 「ぶらんこ復活」	・約束やきまりの意義を理解し、それらを守る力 ・集団の一員として、よりよい学校生活づくりに自分から参加しようとする意識。 ・グループでの話し合いのしかた	・きまりを守る理由を考えさせる質問 ・日常生活を取り上げ、自分の行動を振り返らせる。 ・話し合いのグループ構成、司会台本の活用、事前に自分の考えを記入、書記の設定
5 年 主題名 だれかの役に立つこと 【勤労、公共の精神】 教材名 「弘君の委員会活動」	・自分の考えを友達に伝え、友達の意見を聞き、修正したり、確認したりしながら、自分なりの答えを見出す力。 ・委員会活動が学校生活のさまざまな場面で役立っていることを気付かせて、みんなのために働くことの意義を理解する。 ・集団の一員として、よりよい学校生活づくりに自分から参加しようとする意識。	・多面的な考えを引き出すための質問やワークシートの工夫 ・グループでの話し合い活動のスキル指導 ・教職員を対象とした委員会活動のアンケート調査の実施。 ・アンケートの回答を説話で活用。

学級活動

授業内容	社会情動的スキルを育てるために身に付させたいこと	教師の主な指導行動
2 年 活動名 「子どもまつりのお店を決めよう」	- 話し合いのルールを身に付ける。 - 役割や責任を果たす態度 - 集団としての所属感(みんなと活動することを楽しむ) - 互いのよさを認め合って協力する態度	- 話し合いの進め方や、話型を提示する。 - 司会やグループリーダーを輪番制にし、全員に経験させる。 - 学級会ノートを使用し、自分の意見をもって話し合わせる。 - 良い発言や行動を取り上げ、学級全体に広げる。
4 年 活動名 「学年レクの計画を立てよう」	- 話し合いの仕方 - 役割や責任を果たす態度 - 集団の一員としての所属感 - 互いの良さを認め合って協力する態度	- 国語や他教科との関連、話し合いのルールを指導する。 - 自分の担当するレクを計画、実施する活動を取り入れる。 - レクでみんなと活動することを楽しませる。 - 同じグループで協力してレクを準備させ、レクで良かったところを振り返る活動を取り入れる。
6 年 活動名 「がんばろう運動会」	- 効率的・計画的に話し合おうとする態度 - 役割や責任を果たす態度 - 自分の意見をもって話し合いに参加する。 - 互いのよさを認め合い、よりよい考えを生み出す力	- 自分の考えをもって話し合いに参加させる。 - 最高学年として相手意識をもって話し合いに参加させる。 - 相手意識をもたせ活動させる。 - 冊子を作成させ、あらかじめ他の人の考えを理解して活動させる。

生活単元

授業内容	社会情動的スキルを育てるために身に付させたいこと	教師の主な指導行動
かしわ 単元名 「昼食を作る計画を立てよう」	- 話し合いのルール - 司会の進め方 - 自分の意見を伝えること - 理由をふまえて意見を言うこと - 互いの意見を認め合って話し合おうとする態度	- ルール文章化し提示する。個別に言葉かけをする。 「司会カード」を活用させる。 - 視覚的支援を行う。「自分カード」を活用させる。 - 話し合いを振り返らせる。個別に言葉かけをする。

7 研究で分かったこと

昨年度の学習を支える指導の在り方についての研究を礎として、今年度の研究に取り組んできた。今年度の「人と生きていく力の育成」を通して、学んだことを生かして生き方について考えさせることの意義と指導の在り方を改めて検討する機会となった。人と生きていく力の基礎として、学び、考え、実践する過程を児童に経験させることが大切であるとの指導者としての学びを得た。